

共生社会・地域活性化に関する調査会

委員一覧 (25名)

会長	直嶋 正行 (民主)	徳永 エリ (民主)	高階 恵美子 (自民)
理事	金子 恵美 (民主)	中村 哲治 (民主)	松下 新平 (自民)
理事	武内 則男 (民主)	難波 奨二 (民主)	渡辺 猛之 (自民)
理事	岩城 光英 (自民)	平山 幸司 (民主)	浜田 昌良 (公明)
理事	岡田 広 (自民)	藤谷 光信 (民主)	田村 智子 (共産)
理事	横山 信一 (公明)	前川 清成 (民主)	福島 みずほ (社民)
理事	上野 ひろし (みん)	石井 浩郎 (自民)	亀井 亜紀子 (国民)
	加賀谷 健 (民主)	岩井 茂樹 (自民)	
	神本 美恵子 (民主)	加治屋 義人 (自民)	(23.1.28 現在)

(1) 活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、共生社会・地域活性化に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、第176回国会の平成22年11月12日に設置された。3年間の調査テーマを「地域活力の向上と共生社会の実現」とし、1年目は「元気で活力ある地域の構築」について調査を行った。

今国会においては、平成23年2月9日、地域の活性化のための視点について、参考人千葉商科大学学長島田晴雄君、株式会社ちばぎん総合研究所顧問額賀信君及び群馬県みなかみ町長岸良昌君から、2月16日、産業の振興による地域の活性化について、参考人中央大学大学院公共政策研究科教授細野助博君、農事組合法人と郷園代表理事木内博一君及び高松丸亀町商店街振興組合理事長古川康造君から、2月23日、文化・伝統産業による地域の活性化について、参考人劇作家・演出家・大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授平田オリザ君、同志社大学経済学部教授河島伸子君、愛媛県内子町長稲本隆壽君及び株式会社黒壁代表取締役常務伊藤光男君から、それぞれ意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

また、5月18日、東日本大震災による被害への対応について、末松内閣府副大臣、鈴木総務副大臣、筒井農林水産副大臣、市村国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行うとともに、元気で活力ある地域の構築について、筒井農林水産副大臣、鈴木総務副大臣、市村国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

これらの調査を踏まえ、5月18日、中間報告の取りまとめに向けた委員間の意見交換を行った。

参考人からの意見聴取及び質疑、政府に対する質疑、実情調査、委員間の意見交換等を踏まえ、6月8日、5つの柱から成る13項目の「元気で活力ある地域の構築についての提言」を含む調査報告書（中間報告）を議長に提出することを決定した。

なお、共生社会・地域活性化に関する実情調査のため、2月21日及び22日の2日間、兵庫県及び岡山県に委員派遣を行った。

〔調査の概要〕

2月9日の調査会では、参考人から地

域の活性化のための視点について、①移住・交流の促進により、地方を活性化させる余地は大きく、大都市から地方への移住によって、地方は活性化する、②人口減少社会では、人の訪れる地域は活性化し、人の訪れない地域は確実に衰退するため、観光は、地域の人々にとって必要な基幹産業としての性格を強めている、③地域づくりには住民参加が重要であり、観光についても同様であるなどの意見を聴取し、委員との間で活発な質疑が行われた。

2月16日の調査会では、参考人から産業の振興による地域の活性化について、①首都圏一極集中是正のためには、地域への人口定着が必要であり、事業所誘致等による職の創設、そのための行政の支援が重要となる、②農業の産業力を強化し、海外へ展開できる成長事業になることができる、③土地の所有と利用、居住人口の減少という2つの問題を解決しない限り、商店街の再生は不可能であると判断し、その解決に取り組んできたなどの意見を聴取し、委員との間で活発な質疑が行われた。

2月23日の調査会では、参考人から文化・伝統産業による地域の活性化については、①我が国においても、ヨーロッパにおけるホームレスプロジェクトのような文化による社会包摂が重要であり、弱者と社会の接点を持続させる政策が求められ、そのためには文化活動やスポーツ活動等が重要な役割を果たす、②未来に向かって自分たちの社会をどのように組み立てるかという地域ガバナンスのための切り口の一つとして、文化は有効な道具であると期待される、③自分たちの未来は自分たちで築き、元気な町を次世代につなげていくためにも、歴史や文化を

踏まえた地域のアイデンティティが重要である、④外から褒められることにより、町の人々が元気になる自信が付き、何か新しいことをやってみようと思える者が増えてきているなどの意見を聴取し、委員との間で活発な質疑が行われた。

5月18日の調査会では、東日本大震災による被害への対応について、①選挙の実施が困難である市町村に対する方策等について検討の必要性、②被災者の生活の再建、原子力発電所事故に伴う政府による補償の検討、中小企業の事業の再開に向けた対策等の国の対応、③避難所等の生活環境の改善、被災者に対する心のケア、障害者や高齢者等の災害弱者に対する対策、④復興に際しての共生社会に配慮された町・コミュニティづくり等について政府に対する質疑が行われた。

加えて、同日、元気で活力ある地域の構築について、これまでの参考人からの意見聴取等を踏まえ、①地域活性化のための省庁間が連携した制度、団塊世代の活用、人材育成への取組等の重要性、②地方の活性化における移住・交流の重要性、③農業の産業力を強化にする取組や農地保全管理体制の確立、鳥獣被害への対策等の必要性、④被災地の復興において、祭り等の伝統文化を支援することで被災者が活力を持つようにすることの重要性、⑤観光の振興のため外国からの観光客誘致、正確な情報発信、安心・安全のイメージ回復を行うことの必要性、⑥東北の潜在的な自然エネルギーの利活用に関する総合的な観点から検討の必要性等について政府に対する質疑が行われた。

5月18日の調査会では、中間報告書の取りまとめに向けて、地域再生と住民、移住・交流の促進、農業の活性化、文化による地域活性化、地域固有の産業の振

興、弱者に優しいまちづくり、再生可能エネルギー産業による地域活性化等の意見が述べられた。

(2) 調査会経過

○平成23年1月28日(金) (第1回)

- 委員派遣を行うことを決定した。
- 共生社会・地域活性化に関する調査のため必要に応じ参考人の出席を求めることを決定した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。

○平成23年2月9日(水) (第2回)

- 「地域活力の向上と共生社会の実現」のうち、元気で活力ある地域の構築（地域の活性化のための視点）について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

千葉商科大学学長 島田晴雄君
株式会社ちばぎん総合研究所顧問 額賀信君
群馬県みなかみ町長 岸良昌君

[質疑者]

前川清成君（民主）、岡田広君（自民）、横山信一君（公明）、上野ひろし君（みんな）、田村智子君（共産）、福島みずほ君（社民）、亀井亜紀子君（国民）、加賀谷健君（民主）、高階恵美子君（自民）、神本美恵子君（民主）、岩井茂樹君（自民）、徳永エリ君（民主）、渡辺猛之君（自民）

○平成23年2月16日(水) (第3回)

- 「地域活力の向上と共生社会の実現」のうち、元気で活力ある地域の構築（産業の振興による地域の活性化）について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

中央大学大学院公共政策研究科教授 細野助博君
農事組合法人と郷園代表理事 木内博一君
高松丸亀町商店街振興組合理事長 古川康造君

[質疑者]

武内則男君（民主）、石井浩郎君（自民）、

浜田昌良君（公明）、上野ひろし君（みんな）、田村智子君（共産）、亀井亜紀子君（国民）、徳永エリ君（民主）、加治屋義人君（自民）、難波奨二君（民主）

○平成23年2月23日(水) (第4回)

- 「地域活力の向上と共生社会の実現」のうち、元気で活力ある地域の構築（文化・伝統産業による地域の活性化）について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

劇作家
演出家
大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授 平田オリザ君
同志社大学経済学部教授 河島伸子君
愛媛県内子町長 稲本隆壽君
株式会社黒壁代表取締役常務 伊藤光男君

[質疑者]

亀井亜紀子君（国民）、藤谷光信君（民主）、松下新平君（自民）、横山信一君（公明）、上野ひろし君（みんな）、田村智子君（共産）、福島みずほ君（社民）、渡辺猛之君（自民）

○平成23年5月18日(水) (第5回)

- 派遣委員から報告を聴いた。
- 「地域活力の向上と共生社会の実現」のうち、元気で活力ある地域の構築（東日本大震災による被害への対応）について末松内閣府副大臣、鈴木総務副大臣、筒井農林水産副大臣、市村国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

金子恵美君（民主）、高階恵美子君（自民）、浜田昌良君（公明）、小熊慎司君（みんな）、田村智子君（共産）、福島みずほ君（社民）、亀井亜紀子君（国民）

- 「地域活力の向上と共生社会の実現」のうち、

元気で活力ある地域の構築について筒井農林水産副大臣、鈴木総務副大臣、市村国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、意見の交換を行った。

〔質疑者〕

難波奨二君（民主）、松下新平君（自民）、横山信一君（公明）、小熊慎司君（みんな）、田村智子君（共産）、福島みずほ君（社民）、亀井亜紀子君（国民）、徳永エリ君（民主）、渡辺猛之君（自民）

○平成23年6月8日（水）（第6回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 共生社会・地域活性化に関する調査報告書（中間報告）を提出することを決定した。
- 共生社会・地域活性化に関する調査の中間報告を申し出ることを決定した。

○平成23年8月31日（水）（第7回）

- 共生社会・地域活性化に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

- 閉会中における委員派遣については会長に一任することに決定した。

委員派遣

○平成23年2月21日（月）、22日（火）

- 共生社会・地域活性化に関する実情調査〔派遣地〕

兵庫県、岡山県

〔派遣委員〕

直嶋正行君（民主）、金子恵美君（民主）、武内則男君（民主）、岩城光英君（自民）、岡田広君（自民）、横山信一君（公明）、上野ひろし君（みんな）、加賀谷健君（民主）、神本美恵子君（民主）、徳永エリ君（民主）、難波奨二君（民主）、藤谷光信君（民主）、石井浩郎君（自民）、岩井茂樹君（自民）、渡辺猛之君（自民）、浜田昌良君（公明）、田村智子君（共産）、亀井亜紀子君（国民）

（3）調査会報告要旨

共生社会・地域活性化に関する調査報告（中間報告）

【要旨】

本調査会は、共生社会・地域活性化に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、第176回国会の平成22年11月に設置された。

本調査会は、理事懇談会等における協議を経て、「地域活力の向上と共生社会の実現」を調査テーマとし、調査の1年目においては、「元気で活力ある地域の構築」を調査事項として取り上げることとした。

参考人からの意見聴取及び政府に対する質疑並びに委員間の意見交換等を通じて調査を進めてきた結果、「元気で活力ある地域の構築についての提言」を含めた調査報告書（中間報告）を取りまとめ、6月8日、議長に提出した。

本調査会として取りまとめた提言の主な内容は、次のとおりである。

一 地域活性化と住民

1 住民の参加・協力

地域活性化のための住民参加の必要性、地域を自分たちで守る住民の意識・協力

2 地域のアイデンティティの確立

まちづくり等への文化的視点の取り込み、住民の地域への自信・誇りの形成、学校における地域文化の体験・尊重

3 人材の育成・活用

企画力、創造力を持つ人材の必要性、若者に対する年配者の支援・世代間協働、流出人材への地域内における活躍の場の提供、団塊の世代の活用・若者の指導育成、女性の活躍の場づく

り

二 移住・交流・観光

1 地方への移住

移住先の情報提供・事前の生活体験・公共交通サービスの充実等移住の条件整備

2 交流人口の増加

食泊分離、交泊分離等による個別ニーズ対応の観光への転換・リピーター増加、体験型ツーリズム等地域資源をいかした交流、国・地方自治体による民間への支援

3 観光立国

訪日外国人数目標の大幅増、官民挙げた外国人観光客誘致活動、異文化理解の深化、トラブルへの対応強化、大学と連携した通訳等の人材育成

三 産業による地域活性化

1 地域資源をいかした産業創造

地域の産業創造による新たな需要喚起、再生可能エネルギー産業育成の検討

2 農業の産業力強化

農地集積等の規模拡大体制づくり、地域特性をいかしたブランド商品開発、農業従事者の農業経営者化教育、多額の資金調達の仕事みづくり

3 商店街の活性化

生活利便性向上による商店街居住人口の回復、コミュニティが一体となった取組、特区等の国の新たな支援制度の検討

四 文化による地域活性化

1 文化の経済的側面

産業振興・地域活性化等への文化の創造性の活用、地域の主体的取組の支援、国のブランドイメージを文化により支える外交文化戦略の確立

2 文化の地域間格差の是正

地域の文化資源の価値判断・活用能力の幼少時からのかん養、文化・芸術活動の地方における機会拡充

3 社会包摂による地域社会の再生

文化活動を通じた弱者と社会との接点の持続の検討

五 被災地域の再生

安心・安全な地域づくり、女性、子ども、高齢者、障害者等人に優しい共生のまちづくり、伝統文化再生による被災地の活力向上、省庁間・地方自治体の連携による支援